

卒論の章別構成 (予定)

題名 電子決済が切り開くキャッシュレス社会の展望

電子決済が主流になる

1. 序論

(ええ)

2. 電子決済取引の動向

- 日本におけるキャッシュレス事情
 - ・人々に根強く定着した「現金決済主義」
 - ・資金決済法の改正 (銀行以外の機関による金融サービス解禁)
- 諸外国におけるキャッシュレス事情
 - ・「治安」の問題 (偽札・強盗)
 - ・キャッシュレス手段の変遷 (小切手～)
- 消費額と電子決済普及率の関連性 (国内外双方を比較/分析)
- 多様化する電子決済手段
 - ・FinTech の発展による変化

国内最終消費支出 537 兆円

IT～スマホ～LINE pay (ネット決済)

3. クレジットカードの普及と電子マネーの登場

- クレジットカード 電子決済の礎
 - ・クレジットカードの歴史 (登場から普及まで) 東京オリビュで外人用に
 - ・クレジットカードの仕組みを利用したデビットカードの登場 借金感覚で使ってた
 - ・カード決済の利点欠点、業界の狙いとビジネスモデル 多量債務
- 電子マネー 今の日本では
 - ・日本において電子マネーが多くの人々に支持された理由とは 借金感覚で使ってた
 - ・電子マネーに業界が注力する理由とは charge 前払いになる、無金利で
 - ・モバイル端末との連携 (おサイフケータイ、Apple Pay など) による新たな可能性

アリペイ...バーコード決済

クレジット

4. 本格的なキャッシュレス社会の実現に向けた課題

- 電子決済手段の悪用
 - ・犯罪者 (第三者) による不正利用や詐欺について ? 高額なものを盗く
 - ・取引の「電子化」により生じる個人情報の扱いやプライバシーの問題 スキミング 偽造カード
- 消費者保護に関する問題
 - ・多重債務者増加の危険性について 韓国では深刻
- 決済環境の整備
 - ・事業者と利用者、双方による理解の必要性

5. 結論

キャッシュレスの利点と欠点

参考文献一覧

1. 「キャッシュレス革命 2020」研究会編
『キャッシュレス革命 2020 電子決済がつくりだす新しい社会』日経 BP 社 2016 年
2. 野村総合研究所『電子決済ビジネス』日経 BP 社 2010 年
3. 山本正行『カード決済業務のすべて』金融財政事情研究会 2012 年
4. 伊藤亜紀『電子マネー革命—キャッシュレス社会の現実と希望』講談社現代新書 2010 年
5. 岡田仁志『電子マネーがわかる』日経文庫 2008 年
6. 野村総研・電通『スマートマネー経済圏 新版』日経 BP 社 2011 年
7. 本田元『図解カードビジネスの戦略〈第 2 版〉』中央経済社 2014 年